

iFree レバレッジ NASDAQ100

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2025年10月20日)

(作成対象期間 2024年10月19日～2025年10月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年10月19日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国の株価指数先物取引、米国の債券、わが国の債券およびダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			NASDAQ100指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比	株式先物比率	公社債組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
3期末(2021年10月18日)	円 36,068	円 0	% 56.4	21,698	% 28.4	—	% 201.3	% 8.7	百万円 131,050
4期末(2022年10月18日)	17,207	0	△ 52.3	15,935	△ 26.6	—	200.5	—	126,307
5期末(2023年10月18日)	27,479	0	59.7	21,916	37.5	—	199.8	—	222,491
6期末(2024年10月18日)	42,350	0	54.1	29,429	34.3	—	199.5	19.9	251,387
7期末(2025年10月20日)	55,765	0	31.7	36,357	23.5	—	200.6	30.0	269,389

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) NASDAQ100指数(税引後配当込み、米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

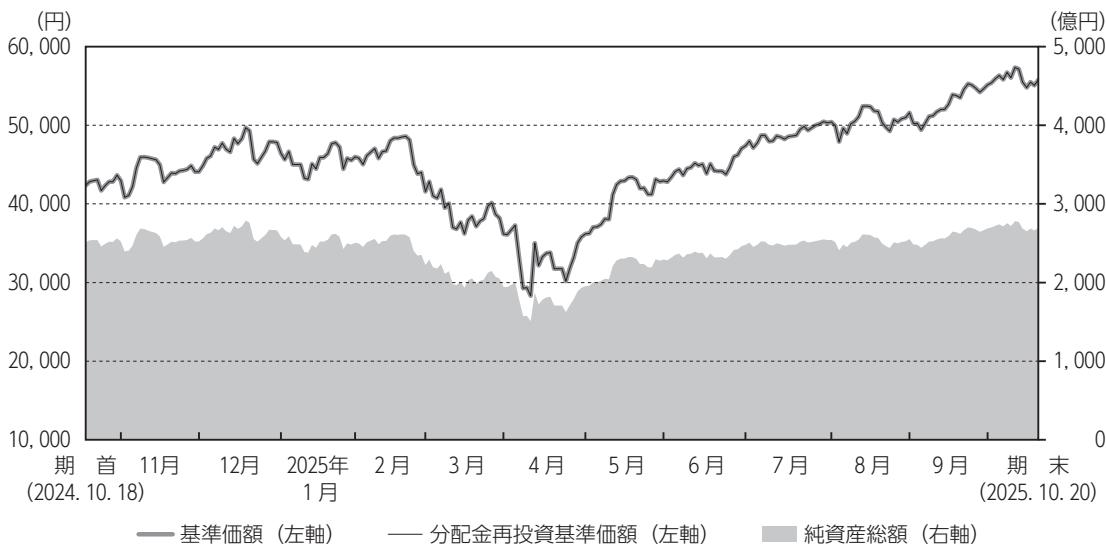
(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般的のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Index®の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq® およびNASDAQ-100 Index の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、NASDAQが決定、構築および算出を行なうNASDAQ-100 Index の使用を許諾することに限られます。NASDAQは、NASDAQ-100 Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Index とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつNASDAQ-100 Index またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：42,350円

期 末：55,765円（分配金 0円）

騰落率：31.7%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、米国株式市況が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFree レバレッジ NASDAQ100

年 月 日	基 準 価 額	NASDAQ100指数 (税引後配当込み、 米ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	公 社 債 組入比率
		(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2024年10月18日	円 42,350	% —	29,429	% —	% 199.5	% 19.9
10月末	42,960	1.4	29,717	1.0	— 200.7	19.9
11月末	44,090	4.1	30,255	2.8	— 199.4	36.4
12月末	46,442	9.7	31,331	6.5	— 200.2	27.7
2025年1月末	45,975	8.6	31,389	6.7	— 200.1	28.6
2月末	41,567	△ 1.8	30,007	2.0	— 200.7	28.1
3月末	36,159	△ 14.6	28,171	△ 4.3	— 199.6	28.8
4月末	36,184	△ 14.6	28,563	△ 2.9	— 200.5	19.7
5月末	42,926	1.4	31,239	6.2	— 199.5	31.6
6月末	47,396	11.9	32,968	12.0	— 199.5	26.3
7月末	50,422	19.1	34,161	16.1	— 199.6	33.6
8月末	51,580	21.8	34,702	17.9	— 200.1	34.1
9月末	55,124	30.2	36,049	22.5	— 200.1	27.3
(期末) 2025年10月20日	55,765	31.7	36,357	23.5	— 200.6	30.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 10. 19 ~ 2025. 10. 20)

■米国株式市況

米国株式市況は、急落後上昇に転じ、当作成期末にかけて史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より経済指標の改善等から堅調に推移し、2024年11月初旬には、大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどが好感され、上昇に弾みがつきました。12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際には、その後の利下げペースの減速が示唆されたことで株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、大幅に下落しました。さらに、4月2日に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価はまれに見る急落に見舞われ、当作成期中の安値を記録しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は急反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退したことや、インフレ加速が見られない中で雇用情勢が悪化しF R Bの利下げ観測が強まることなどが好感され、ほぼ一本調子で上昇しました。9月中旬にF R Bが0.25%ポイントの利下げを決定すると、A I・半導体関連株主導で続伸し、史上最高値を更新して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、米国の株価指数先物取引を買建てます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 10. 19 ~ 2025. 10. 20)

■当ファンド

米国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、信託財産の純資産総額の2倍程度となるよう調整しました。また、「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券への投資も行ったほか、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

米国の株価指数先物取引については、E-mini NASDAQ100種株価指数先物取引を利用しました。

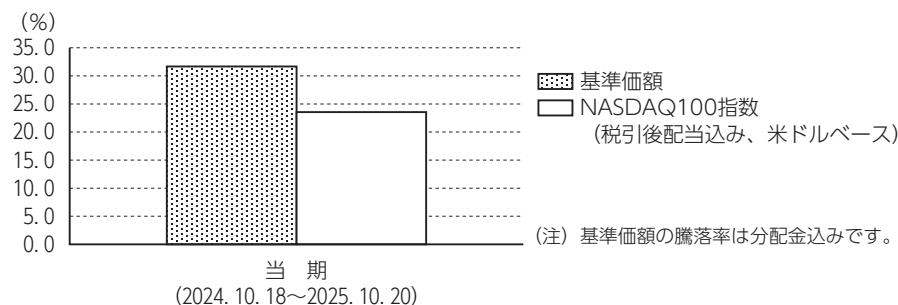
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送させていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期
	2024年10月19日 ～2025年10月20日
当期分配金（税込み）(円)	—
対基準価額比率 (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	45,765

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、主として、米国の債券、わが国の債券および「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の受益証券に投資するとともに、米国の株価指数先物取引を買ってます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（配当込み、米ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざします。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 10. 19～2025. 10. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	451円	0.995%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は45,324円です。
(投 信 会 社)	(218)	(0.481)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(218)	(0.481)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0.011	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(5)	(0.011)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	457	1.008	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

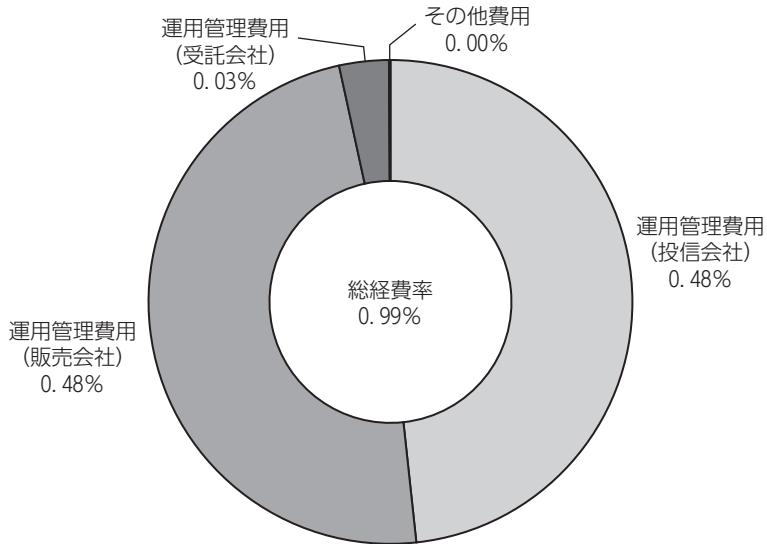
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.99%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年10月19日から2025年10月20日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	千口	千円	千口	千円

361,499,604 362,028,685 317,473,084 317,919,270

(注) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2024年10月19日から2025年10月20日まで)

銘 柏 別	買 建		売 建		当 作 成 期 末 評 価 額		
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	評 価 損 益
外 株 式 NASDAQ 100 E-MINI (アメリカ)	百万円 2,486,532	百万円 2,528,911	百万円 —	百万円 —	百万円 540,514	百万円 —	百万円 8,915

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2024年10月19日から2025年10月20日まで)

決 算 期	当 期						
	区 分	買付額等 A	う ち 利 売 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 B	B/A	売付額等 C	う ち 利 売 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 D	
公社債	百万円 401,776	百万円 36,445	% 9.1		百万円 32,086	百万円 —	% —
コール・ローン	18,326,759	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合61.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	千口 89,007,803	千口 133,034,323	千円 133,513,247

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年10月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	133,513,247	48.9
コール・ローン等、その他	139,327,127	51.1
投資信託財産総額	272,840,374	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので
す。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.00円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(69,697,410円)の投資信託財産総額(272,840,374円)に対する比率は、25.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年10月20日現在

項目	当期末
(A) 資産	341,205,956,928円
コール・ローン等	69,518,399,048
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	133,513,247,024
未収入金	77,396,335,793
差入委託証拠金	60,777,975,063
(B) 負債	71,816,722,287
未払金	70,044,999,230
未払解約金	557,636,235
未払信託報酬	1,212,947,571
その他未払費用	1,139,251
(C) 純資産総額 (A - B)	269,389,234,641
元本	48,307,851,211
次期繰越損益金	221,081,383,430
(D) 受益権総口数	48,307,851,211口
1万口当り基準価額 (C/D)	55,765円

* 期首における元本額は59,359,577,651円、当成期間中における追加設定元本額は9,338,895,898円、同解約元本額は20,390,622,338円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は55,765円です。

■損益の状況

当期 自 2024年10月19日 至 2025年10月20日

項目	当期
(A) 配当等収益	2,598,666,364円
受取利息	221,415,318
その他収益金	2,377,251,046
(B) 有価証券売買損益	△ 5,288,548,740
売買益	15,174,038,793
売買損	△ 20,462,587,533
(C) 先物取引等損益	69,216,053,986
取引益	136,398,354,183
取引損	△ 67,182,300,197
(D) 信託報酬等	△ 2,399,292,875
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	64,126,878,735
(F) 前期繰越損益金	54,999,159,474
(G) 追加信託差損益金	101,955,345,221
(配当等相当額)	(51,973,275,969)
(売買損益相当額)	(49,982,069,252)
(H) 合計 (E + F + G)	221,081,383,430
次期繰越損益金 (H)	221,081,383,430
追加信託差損益金	101,955,345,221
(配当等相当額)	(51,973,275,969)
(売買損益相当額)	(49,982,069,252)
分配準備積立金	119,126,038,209

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：254,017,054円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,504,854,013円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	61,622,024,722
(c) 収益調整金	101,955,345,221
(d) 分配準備積立金	54,999,159,474
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	221,081,383,430
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	221,081,383,430
(h) 受益権総口数	48,307,851,211口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド (iFree レバレッジ NASDAQ100) が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日 (2024年12月9日) と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日 (2025年10月20日) 現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

(2024年10月19日から2025年10月20日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
1277国庫短期証券 2025/3/31	千円 43,884,327	1231国庫短期証券 2025/5/20	千円 32,086,550
1324国庫短期証券 2025/11/10	42,456,310		
1305国庫短期証券 2025/8/12	42,359,507		
1266国庫短期証券 2025/2/10	41,398,758		
1296国庫短期証券 2025/6/30	35,369,131		
1337国庫短期証券 2026/1/19	32,658,667		
1322国庫短期証券 2025/11/4	27,971,020		
1303国庫短期証券 2025/8/4	26,054,513		
1325国庫短期証券 2025/11/17	24,972,600		
1286国庫短期証券 2025/5/12	22,682,339		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年10月20日現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンド (210,584,071千口) の内容です。

(1) 国内(邦貨建)公社債(種類別)

区分	2025年10月20日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 128,200,000	千円 128,137,873	% 60.6	% —	% —	% —	% 60.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

2025年10月20日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1322国庫短期証券	% —	千円 28,000,000	千円 27,995,275	2025/11/04
	1324国庫短期証券	% —	42,500,000	42,489,805	2025/11/10
	1325国庫短期証券	% —	25,000,000	24,991,569	2025/11/17
	1337国庫短期証券	% —	32,700,000	32,661,223	2026/01/19
合計	銘柄数 金額	4銘柄		128,200,000	128,137,873

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

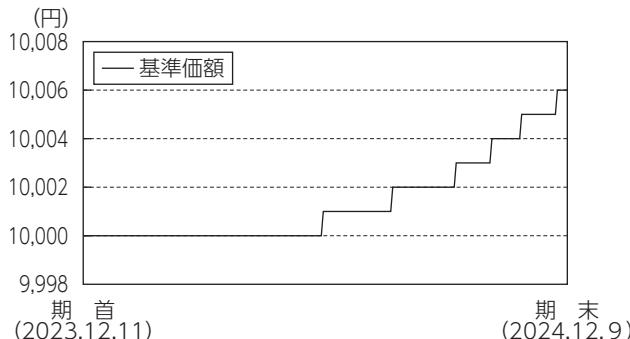
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 比	債 率
	騰 落 率	円		
(期首)2023年12月11日		10,000	%	%
12月末		10,000	0.0	—
2024年 1月末		10,000	0.0	—
2 月末		10,000	0.0	—
3 月末		10,000	0.0	55.3
4 月末		10,000	0.0	82.1
5 月末		10,000	0.0	68.9
6 月末		10,001	0.0	55.2
7 月末		10,002	0.0	69.8
8 月末		10,002	0.0	84.0
9 月末		10,003	0.0	58.2
10月末		10,004	0.0	56.5
11月末		10,005	0.1	56.7
(期末)2024年12月 9日		10,006	0.1	56.2

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・謙落率】

期首：10,000円 期末：10,006円 謙落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3ヶ月物）の利回りはおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3ヶ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合 計	－

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

国 内	銘柄	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
	国債証券	346,632,363	(212,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期			
買 付	売 付		
銘柄	金 額	銘柄	金 額
	千円		千円
1219国庫短期証券	2024/6/24	129,997,160	
1239国庫短期証券	2024/9/24	69,999,650	
1258国庫短期証券	2024/12/23	53,294,723	
1266国庫短期証券	2025/2/10	41,398,758	
1231国庫短期証券	2025/5/20	39,942,240	
1232国庫短期証券	2024/8/19	11,999,832	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
	区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	
		千円	千円	%	%	%	%
国債証券		134,700,000	134,670,523	56.2	—	—	56.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および付帯情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区分	当期末				
	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	%	千円	千円	
	—	—	53,300,000	53,299,179	2024/12/23
	1266国庫短期証券	%	千円	千円	
	—	—	41,400,000	41,399,193	2025/02/10
	1231国庫短期証券	%	千円	千円	
	—	—	40,000,000	39,972,151	2025/05/20
合計	銘柄数 金額	3銘柄 134,700,000		134,670,523	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 134,670,523	% 56.2
コール・ローン等、その他	104,892,215	43.8
投資信託財産総額	239,562,739	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期末
(A) 資産	239,562,739,179円
コール・ローン等	104,892,215,443
公社債(評価額)	134,670,523,736
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	239,562,739,179
元本	239,423,796,545
次期繰越損益金	138,942,634
(D) 受益権総口数	239,423,796,545口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,006円

*期首における元本額は223,366,515,143円、当造成期間中における追加設定元本額は379,388,372,711円、同解約元本額は363,331,091,309円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド	—ロボテック	1,268円
ダイワ・ミレーアセット・インド株式ファンド	—インドの匠	1,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジなし)	998円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	—ロボテック(為替ヘッジあり)	1,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	(年1回決算型)	1,985円
—ロボテック(年1回)	(為替ヘッジなし)	1,985円
i Free e レバレッジ S & P 500		12,280,562,264円
i Free e レバレッジ N ASDA Q100		161,414,548,329円
クリーンテック株式ファンド	(資産成長型)	1,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	—ロボテック(毎月決算/予想分配金提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド	(為替ヘッジなし/資産成長型)	1,501円
i Free e ETF 日経平均レバレッジ・インデックス		4,967,255,494円
i Free e ETF 日経平均ダブルインバース・インデックス		3,734,014,700円
i Free e ETF TOPIXレバレッジ(2倍)	指數	1,515,998,588円
i Free e ETF TOPIXダブルインバース(2倍)	指數	801,214,702円
i Free e ETF 日経平均インバース・インデックス		5,058,763,299円
i Free e ETF TOPIXインバース(−1倍)	指數	10,715,235,502円
i Free e ETF J P X日経400ブルーバース・インデックス		64,927,071円
i Free e ETF S & P 500レバレッジ		876,757,771円
i Free e ETF S & P 500インバース		2,731,982,925円
ダイワ日本債15-20年ラーティングファンド・マネーポートフォリオ	—Sトレード	5,039,566円
ブルペア・マネー・ポートフォリオ6		19,181,134,074円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6		14,137,732,019円
ペア2倍日本株ポートフォリオ6		1,917,701,692円
ダイワ・ハリス世界厳選株ファンド・マニー・ポートフォリオ		20,903,964円
ダイワ米国パンクローン・オーブン	(為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国パンクローン・オープン	(為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレーアセット・アシスト		1,148円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・クローバル好配当株α	(毎月分配型)	1,833円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α	(毎月分配型)	1,788円
通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α	(毎月分配型)	1,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)	—ロボテック(年1回)	1,588円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)	—ロボテック(年1回)	1,813円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,006円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	101,466,211円
受取利息	108,064,601
支払利息	△ 6,598,390
(B) 有価証券売買損益	118
売買益	118
(C) 当期損益金(A + B)	101,466,329
(D) 前期繰越損益金	2,910,485
(E) 解約差損益金	△ 35,737,142
(F) 追加信託差損益金	70,302,962
(G) 合計(C + D + E + F)	138,942,634
次期繰越損益金(G)	138,942,634

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。